



特集

検討を重ね、無事開催へ 成人の日記念のつどい

「成人の日記念のつどい」が1月10日(日)に開催されます。今年新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、2会場3部制で時間や内容も大幅に縮小して開催します(詳細は1面参照)。コロナ禍で成人式の開催が全国的に危惧される中、開催に至った経緯や開催への熱い思い、将来への抱負などを、新成人代表2人、成人の日記念のつどい実行委員会から代表の方3人に語っていただきました。(※本記事は令和2年11月16日時点での取材により作成したものです)



新成人にとって、“来年がない”大切な式典。コロナ禍であってもなんとか開催したい!

吉川委員長 | 令和3年の成人式の開催が無事決定しました。まずは、ご協力やご支援をいただいております地域の皆さんに感謝申し上げます。このような状況ですから、実行委員会においても「リモート開催ではダメなのか」といった意見も出ました。しかし、成人式というのは地元の仲間が久しぶりに顔を合わせ、思い出話や将来への夢を語り合う貴重な機会。一生に一度きりの式典のため、安全性を担保しながらなんとか開催できるよう、実行委員一同で知恵を絞ってまいりました。



成人の日記念のつどい
実行委員会
吉川 正司委員長
(東淀川区地域振興会会長)

中山さん | 「きれいな振袖姿で、いつか自分もと、子どもの頃から憧れていた成人式。直前に新型コロナウイルス感染症が流行し、開催されるか不安だったのですが、地域の皆さんが一生懸命に話し合ってくくださったことに感謝の気持ちでいっぱいです。この機会を決して無駄にすることなく、「大人」への仲間入りに自覚を持って、今後も進んでいきたいと思っています。



新成人代表 **中山さん**

吉川委員長 | 私は今年82歳になりますが、中学の木造校舎で迎えた成人式の日の思い出を、今でも覚えています。お互いの夢を語り合い、そこから新たな繋がりが生まれ、未来への刺激となったり。数年後、数十年後、時を経て振り返ったときに、素敵な人生の1ページとなっていることでしょうか。



成人の日記念のつどい
実行委員会
宮崎 栄副委員長
(東淀川区青少年福祉委員
連絡協議会会長)

宮崎副委員長 | 今年は、感染症対策のため、抽選会や吹奏楽の演奏はありませんが、代わりにYouTube配信という新しい試みがあります。例年にない特別な思い出になるのではないのでしょうか。

中山さん | 配信、とても楽しみです! 自宅の家族はもちろん、田舎の祖父母にも孫の晴れ姿を見ることができ、コロナ禍の逆境の中で見出したとても良い方法だと思っています。

検討を重ね、2会場3部制の開催が決定。コロナ禍を逆手にとった、今年初の試みに期待!



成人の日記念のつどい
実行委員会

岡本 栄司副委員長
(東淀川区青少年指導員
連絡協議会会長)

岡本副委員長 | 大阪24区の中でも東淀川区は、新成人が例年1700~1800人と多く、式典にも1000人以上の出席者が集います。そのため今回は、3部制にすることで一度に集まる人数を減らし、さらに入れ替え時の密集を防ぐために2会場を設けることにしました。感染症対策を最優先しながら、思い出に残る素敵な式典にできるよう、検討を重ねました。

宮崎副委員長 | 日頃からの地域活動において子どもたちを見守る立場としても、成長した子どもたちに出会える「成人の日」は毎年楽しみでもあります。また、私自身も東淀川区で生まれ育ち、この地で成人式を迎えた一人。新成人にとっての特別な式典であるため、中止だけはなんとか避けたい。地域のこれからを担う大切な新成人のお祝いを無事開催できることとなり、大変嬉しく思っています。

岡本さん | 新成人を代表して、まずは開催実現に向けて様々な準備をくださった皆さんに感謝の気持ちを述べたいと思います。そしてこんな今だからこそ、協力者としてお役に立てることを光栄に思います。コロナ禍において小学校や中学校の同級生と会える貴重な時間を大切にしながら、協力者としての立場も忘れず滞りなく式典を終えられるよう努めたいです。



新成人代表 **岡本さん**

「どんなときも“誇り”を持って生きて」大人への“自覚”が芽生える人生の節目。

吉川委員長 | コロナ禍など大変な世の中ですが、新成人の皆さんには、「誇り」を持って生きてほしい。「誇り」を持つことが、大人として行動することの「自覚」を促してくれますし、「責任」にもつながります。もちろん我々大人にも言えることです。その基本に立ち返れば、間違った方向に進むことはないのではないかなと思います。

岡本副委員長 | 当日も吉川委員長は素敵なメッセージをくださいますので、新成人の皆さんはぜひ聞きに来てもらえればと思います。

新成人代表のお二人に抱負を伺いました

岡本さん

今はまだ学生として過ごしているのですが、自分が大人として扱われるのは社会に出てからだとは思いますが、だからその時まで「自律」を目標としたいと思います。自分に責任を持つ大人になれるよう、自律を身につけて社会人として過ごせるように、今までお世話になった方々に少しづつでも恩返しできるようにしたいと思います。

中山さん

現在、新型コロナウイルス感染症が流行したり、リモートを活用する案が生まれたり、身近なところで様々な変化を感じています。これから私たちが生きる時代、そういった変化はたくさん起こると思いますが、変化を拒否してパニックになるのではなく、臨機応変に対応していけるような柔軟性のある人になりたいと思っています。

あけましておめでとうございます

昨年は年明けから新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、新しい生活様式が確立されるなど、区民の皆さんの生活においても大きな変化が生まれた年でありました。今もなお新型コロナウイルス感染症対策にご協力いただいております皆さんに心から感謝申し上げます。

さて、今年10日に「東淀川区成人の日記念のつどい」が開催されます。このコロナ禍の中、東淀川区では今年度初の大規模イベントとなります。本つどいの開催に当たりましては、新成人の皆さんや運営にご協力いただく地域の皆さんの安全を確保しながら、一生に一度の成人式をどうやって開催していけるのかを実行委員会で検討を重ねていただきました。新成人の皆さんには、このような状況ではありますが、新型コロナウイルス感染症対策を徹底した式典にぜひご参加いただき旧交を温めると同時に、これから社会の一員となる意味を改めて考えていただければと思います。



東淀川区長
西山 忠邦